

「大学のお酒」観察記

Sake of Universities in Japan

●チャオ、チャーオ。シーナです。日本の大学のCOOPさんに行くと、「大学ブランドのお酒」を売ってるのに驚きます。●2004年、日本では国立大学が法人化され、研究室や教育現場の予算管理が大きく変わったそうです。以来15年、研究や教育だけでなく、大学食堂や大学生協も民間的経営が定着して、「商売上手」になりました。シャレた雰囲気でご近所ママの定番レストラン化している学食もあります。大学生協では様々なグッズが売られるようになり、「お酒」も大学グッズの重要アイテム。●かつて日本では、アカデミックな研究の場とビジネスは異なるべきと考える時代もあったそうですが、いまや「産学連携」は大学が生き残る必須要件。もう少しレール「民間とのコラボ」「地元企業とのコラボ」も、大学にとって当たり前の時代です。お酒は「産学連携」や「コラボ」の絶好のアイテムのようです。●今回は、全国の大学のお酒を観察しました。

「大学名=お酒の名前」のサンプル

スバリでわかりやすい「東京大学」「長崎大学」「三重大学」など大学名だけのバージョンのほか、「静大育ち」「お岡大」「お、明治」など、大学名に一言がつくバージョンも。



大学生協(や酒販店)の企画商品のお酒のサンプル

東大構内を散策・見物をしたあと、東大生協で食事をして、東大生協でお土産を買って帰る観光客は多い。日本酒「赤門」は、東大生協で販売している東大土産の定番だけれど、実は東大のご近所の酒販店さんが企画するPB日本酒。「リンゴ大学」「燦樹」は、大学生協の企画商品。



東京大学 (田端酒造) 弘前大学 (オニコウベ) 山形大学 (富士酒造) 九州大学 (浜地酒造) 雲雀丘学園 (サントリー)

「旧七帝大」のお酒のサンプル

東大の泡盛「御酒」は、坂口謙一郎先生が戦争で焼け野原になる前の沖縄で採取された麹菌による。京大のビールは早稲田大とのコラボ商品。阪大がウイスキーであるのは、ニッカの竹鶴政孝さん、サントリーの佐治敬三さんの出身校ゆえ(光吹は2015年の商品で販売終了)。旧七帝大のすべてにお酒ブランドがあります。



東京大学 (瑞泉酒造) 京都大学 (黄桜) 大阪大学 (サントリー) 九州大学 (浜地酒造) 東北大学 (一ノ蔵)

お酒の講座や研究部門がある大学のサンプル

東京農大は多くの清酒・焼酎蔵元が卒業、今や日本の清酒・焼酎産を支える大学。山梨大学ワインセンターは1947年設立、日本のワイン産業にはなくてはならない存在。鹿児島大学の焼酎講座は2007年から、新潟大学の日本酒学センター2018年から。



東京農業大学 (網走ビール) 山梨大学 (まるき葡萄酒) 鹿児島大学 (薩摩酒造) 新潟大学 (塩川酒造)

学生がつくった&大学農園によるお酒のサンプル

大学の実習授業の一環で造ったお酒、大学農場のドウや米で造ったお酒、学生が田植えや醸造を手伝ったお酒など。



九州産業大学 (巨峰ワイン) 信州大学 (伊那ワイン工房) 山口大学 (岩崎酒造) 埼玉工業大学 (丸山酒造) 宮城大学 (新澤醸造店)

私立大学のお酒のサンプル

「都の西北」は早稲田の校歌、「若き血」は慶應の応援歌。早稲田出身、慶應出身の蔵元はそれぞれ20社以上あるように、「日本酒早慶戦」があるそうです。紙幅に限られているので掲載しない私立大学のお酒はたくさんありますが、とはいえず、「私立大学のお酒」は「国公立大学のお酒」より少ないようです。



北海道大学 (日本清酒) 名古屋大学 (大山ビール) 早稲田大学 (竹下本店) 慶應大学 (橘倉酒造) 立命館大学 (小西酒造) 近畿大学 (八木酒造)

大学と蔵元のコラボのサンプル

東大出身の蔵元やファイナリーオーナーは意外と多い。「惣嘗」は「東大蔵元会」の一社。あとは京阪神の大学の事例を掲載しましたが、これ以外にも全国各地の大学で地元蔵元とのコラボのお酒が多数商品化されています。(大阪府立大学の清酒は古代米から造るので赤みを帯びています)



東京大学 X 惣嘗 大阪大学 X 荘の郷 大阪府立大学 X 天野酒造 大阪市立大学 X 月の桂 神戸大学 X 白鶴 京都府立大学 X 黄桜 姫路獨協大学 X 龍力

高校のお酒のサンプル

高校生は飲酒できないのですが、ワイン、日本酒などの醸造を学ぶコースのある高校がいくつかあります。また、農業高校の実習で育てたお米で日本酒を作ってもらうケースも。20歳になった時飲めるように作ったお酒を取っておく場合も多いようです。



(長野) 塩尻志学館高校 (校内で醸造) (山口) 田布施農工高校 (校内で醸造) (滋賀) 長浜農業高校 (七本鎗) (岩手) 花巻農業高校 (川村酒造店) (宮城) 登米総合産業高校 (伊豆沼産)

国公立大学のサンプル

前掲の旧七帝大を筆頭に、国公立大学のお酒は実に多い。2018年時点で国公立大学は169あるそうですが、その1/3くらいは、大学に関係したお酒ブランドがある感じですね。私立に比べて、国公立のほうが商売熱心?



東京農工大学 (藤居酒造) 筑波大学 (栄福酒造) 愛媛大学 (島田酒造) 埼玉大学 (釜屋)

大学と企業の産学連携のサンプル

アルコールは入っていませんが、醸造食品のくくりで甘酒とヨーグルトの事例を掲載。ヨーグルトは2つとも、大学名よりむしろ教授のお名前(柳田教授と二川教授)が前面に出ている商品です。



近畿大学 X ウェルシア 日本薬科大学 X 北西酒造 山梨大学 X 白州屋まめ吉 広島大学 X らくれん

●昭和の時代、有力な酒類産業者を輩出した大阪大学や広島大学の「醸造学科」はその名前がなくなって久しいのですが、平成は、鹿児島大学に焼酎、新潟大学や神戸大学に日本酒、信州大学や北海道大学にワインなど、酒類の新しい講座・学科・研究部門が次々と創設されました。●高校でも、かつて「(日本酒)醸造科」があった新潟吉川高校は閉校になってしまいましたが、ワイン、日本酒などの醸造教育を意欲したコースを新しく設ける高校が各地に現れているようです。令和は醸造産業者が再注目される予感、ですね。●なお、下の写真は、大学ではないけれど、きた産業コレクションから、ちょっと変わったお酒です。(text & pictures = Sienna K. Emiri)



酒類総研 (研究内醸造) 衆議院 (人気酒造) 参議院 (会津米川酒造) 大阪府警 (櫻の郷酒造) 警魂 (一ノ蔵)